

戦後日本
住民運動
資料集成9

奄美群島

14年12月刊行

住民運動資料

島ぐるみの闘いで核燃再処理工場建設や
米軍普天間基地移設を阻止した徳之島の記録など、
負けない奄美群島の住民運動資料を網羅、収録



- 全9巻 別冊1・B5判・B4判・上製本
- 定価 (250,000円+税)
- ISBN: 978-4-86369-350-0
- 聞き語りDVD付き

編集委員: 榎本喜一 (大阪府立大学研究員)
幸多勝弘 (徳之島の自然と平和を考える会)
斎藤 憲 (大阪府立大学教授)
高木恒一 (立教大学共生社会研究センター長・教授)
友澤悠季 (立教大学兼任講師)
中村紀一 (筑波大学名誉教授)
藤林 泰 (元埼玉大学教授)
安田常雄 (神奈川大学大学院特任教授)

解題: 斎藤 憲
榎本喜一
安田常雄

すいれん舎

- 聞き語りDVD撮影: 三輪薫子、佐藤健太、土井鮎太
- 編集: 土井鮎太 ●取材協力: 辻明光



《本シリーズの刊行趣旨》

わが国の民衆運動は、戦後民主主義の中で成長し、60年安保反対の国民運動でひとつの頂点を迎える。その後、全国各地の住民・市民運動、消費者運動へと広がりを見せ、70年代に入ると、これら生活者の運動は高度成長を進める権力に抵抗する中から、自らの新しい公共性を構築。あとに膨大な活動の記録を残している。

戦後日本住民運動資料集成は、彼らが発行したミニコミ類を忠実に復刻し、運動の現代的意味を考察すると共に、民衆の築きあげてきた野史の間隙を埋めようとするものである。



徳之島核燃料再処理工場建設反対の伊仙町民決起大会



▲ 枝手久石油基地反対総決起集会
'74年3月10日

1 徳之島、奄美大島、喜界島、与論島などの 住民運動を取材、資料収集した貴重な資料群

徳之島では元町長も含め、3町すべてで取材、資料収集をおこなった。奄美大島では枝手久石油企業誘致反対運動の詳細な闘争日誌を発掘収録したほか、宇検村で当時中心的な活動をしていた新元博文氏の貴重な資料をセレクト収集した。さらに瀬戸内町住民運動資料、学校統廃合に異議をとなえ同盟休校した運動資料も掲載した。喜界島では「象のオリ」反対運動資料と与論島では百合が浜港建設反対運動資料を収録している。

2 奄美群島の主読紙「南海日日新聞」記事による 住民運動基礎資料

奄美群島の主読紙「南海日日新聞」から奄美大島の石油企業誘致反対運動を中心に奄美群島の住民運動記事をセレクトして、B4判に2巻亘って898点掲載。さらに徳之島核燃再処理工場建設反対運動については『徳州新聞』の記事を収録した。

3 関東や関西奄美青年部などによる 住民運動支援活動の記録

関東奄美青年部ニュースや機関誌あしやげを鹿児島県立奄美図書館の協力もえて収録したほか、関西における住民運動支援活動のさまざまな記録を前平彰信氏から提供された資料によって構成した。

4 当事者の聞き語りをDVDビデオに収録

本資料集は何かおきたのかの紙の記録とともに、なぜおきたのか、どういう思想的系譜があってそうなったのか、当事者自身が背負った歴史そのものにも注目する。紙の資料では補えきれないこれらの貴重な体験、事実、思いのたけを運動当事者たちに率直に語ってもらいDVDビデオに収録した。聞き語りは四島で23人にのぼる。

5 あらたな視座による解題・論考

これまでの研究成果を踏まえて、新たな視座で住民運動のとらえなおしをこころみた解題を3編収録した。さらに詳細な資料総目次を別冊解題・資料に付し、利用者の便をはかった。



▲石油企業誘致反対宇検村民会議幹部
向かつて左から森谷次夫事務局長、平
岡和治、吉久文吉議長、上川義信副
議長
▼宇検村役場の前でシグザグデモをするか
つぽう着姿のお母さんたち。'77年1月
8日

1巻 南海日日新聞資料

1961年8月～1964年6月 1972年12月～1976年12月

2巻 南海日日新聞資料ほか

南海日日新聞：1977年1月～1984年11月
徳州新聞：1976年10月～1982年9月

3巻 徳之島資料

- 普天間米軍基地移設反対運動資料
 - * 松山幸栄氏所蔵資料 (徳之島の自然と平和を考える会会長)
- 徳之島核燃料再処理工場建設反対運動資料
 - * 福田高吉氏所蔵資料 (死の灰から生命をまもる伊仙町民会議事務局長)
 - * 故古岡良憲氏所蔵資料 (死の灰から生命をまもる伊仙町民会議会長)
 - * 寿洋一郎氏所蔵資料 (関東奄美青年部幹部)

4巻 森谷日誌ほか

- 枝手久闘争
 - * 川上真理氏所蔵資料
- 森谷次夫 (雄) 闘争日誌 (石油企業誘致反対宇検村民会議事務局長)
1973年11月～1979年5月
団結日誌 (石油企業設置反対宇検村民会議団結小屋日誌)
1973年11月～1974年11月
* えだてく創刊号～4号 (宇検村反公害青年部) 3号は欠落

5巻 えだてく

- 枝手久闘争
 - * えだてく5号～17号 (反公害宇検村青年部)
- 1975年4月～1981年6月

6巻 奄美大島資料

- 枝手久闘争
 - * 新元博文氏所蔵資料 (えだてく発行人、反公害宇検村青年部幹部)
 - * 前平彰信氏所蔵資料 (関西奄美青年部幹部、えだてく編集委員)
 - * 寿洋一郎氏所蔵資料
- 瀬戸内町 石油基地/むつ港 反対運動
 - * 瀬戸内町所蔵資料

7巻 あしやげ

関東奄美青年部ニュース 1976年8月～1977年12月号
あしやげ (青年部ニュースを改題) 1978年7月号～1982年20号

8巻 関東・関西奄美青年部資料

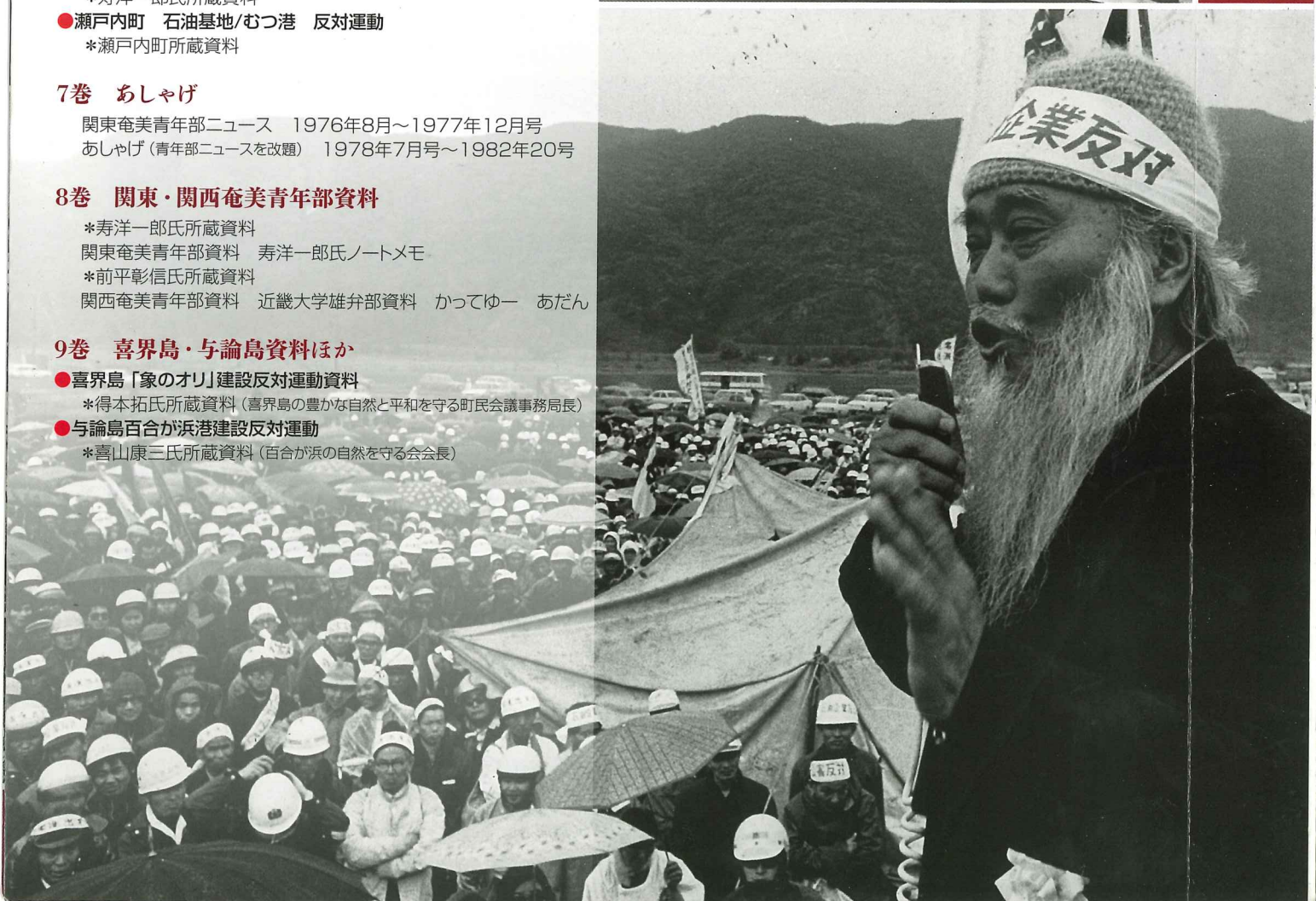
* 寿洋一郎氏所蔵資料
関東奄美青年部資料 寿洋一郎氏ノートメモ
* 前平彰信氏所蔵資料
関西奄美青年部資料 近畿大学雄弁部資料 かってゆー あだん

9巻 喜界島・与論島資料ほか

- 喜界島「象のオリ」建設反対運動資料
 - * 得本拓氏所蔵資料 (喜界島の豊かな自然と平和を守る町民会議事務局長)
- 与論島百合が浜港建設反対運動
 - * 喜山康三氏所蔵資料 (百合が浜の自然を守る会会長)



▲ 枝手久石油基地反対総決起集会74年3月10日
公害から奄美の自然を守る群民会議 松原若安議長
▲ 関東で奄美出身者初のデモ
74年6月16日 銀座 銀座



島ぐるみ住民運動の歴史的記録

宮本憲一

(大阪市立大学名誉教授)

琉球弧の奄美群島は沖縄と同じように薩摩の支配と米軍の支配を受けた。沖縄と異なるのは1953年に日本に返還され、米軍基地がなくなったことである。しかし沖縄と同じように本土で拒否された「迷惑施設」の立地が島民の頭越しに次々と計画された。1973～84年の奄美大島宇検村の東亜燃料の巨大石油工場計画、1976～83年徳之島核燃料再処理工場計画、2010年徳之島米軍普天間基地移設計画などの巨大計画である。そのたびに環境と安全を守るために、激しい島ぐるみの住民運動が起こり、本土移住の旧島民も援助し、企業や政府の経済的・政治的圧力に屈せず、計画を中止させた。

本土の過疎地では原発立地に見るように企業の事業所や公共事業誘致に走る傾向がある。これにたいして

離島でなぜ拒否できたのか。当然のことながら島の中にも「死膳(自然)では飯が食えない」として計画の誘致を進める運動もあり、激しい対立もあった。しかし長い紛争の末にはこれらの危険な計画は挫折し、奄美群島は平和と安全で美しい環境が保持された。

なぜこのようなことが可能になったのか。この住民運動の資料はそれを解き明かしてくれる。それは日本本土による差別に対する長い「抵抗の記憶」や「反骨の精神」といえる歴史的な精神風土かもしれない。しかし私はそれだけではなく、「自然の権利」を主張した有名なアマミのクロウサギ裁判に見るように、住民がこの島々の自然と生活環境を愛し、それがなにもにもかえがたく、それを未来の人々にも維持・継承したいと決意しているからではないかと思う。

推薦者

(五十音順)

淡路剛久 (立教大学名誉教授)

植田和弘 (京都大学教授)

奥平康弘 (東京大学名誉教授)

菅井益郎 (國學院大學教授)

寺田良一 (明治大学教授)

寺西俊一 (一橋大学特任教授・日本環境会議理事長)

長谷川公一 (東北大学教授)

堀川三郎 (法政大学教授)

Vol. 2

Vol. 1

聞き語りDVD目次・収録者一覧

- 1 新元博文 (奄美大島・枝手久石油基地建設反対運動)
 - 2 大津幸夫 (奄美大島・枝手久石油基地建設反対運動)
 - 3 広田勉 (徳之島・枝手石油基地建設反対運動)
 - 4 寿洋一郎 (徳之島・枝手久石油基地建設反対運動)
 - 5 前平彰信・永島健司 (奄美大島・枝手久石油基地建設反対運動)
 - 6 和田昭穂・里和郎 (奄美大島・小学校統廃合反対 同盟休校)
 - 7 森徳久 (奄美大島・瀬戸内町石油備蓄基地建設反対運動)
 - 8 蘭博明 (奄美大島・アマミノクロウサギ訴訟)
 - 9 丸山邦明牧師・得本拓 (宮界島・「家のオリ」建設反対運動)
- 1 はじめに 抵抗の歴史をたどって 島唄川畑さおり 案内 幸多勝弘
 - 2 樫山幸栄・幸多勝弘 (徳之島・普天間米軍基地移設反対運動)
 - 3 上木勲・吉玉誠一・福元洋子・岩井哲之助・幸野平太郎・里井広輝・富純一 (徳之島・核燃料再処理工場建設反対運動)
 - 4 福田高吉 (徳之島・核燃料再処理工場建設反対運動)
 - 5 喜山康三 (写論島・百合ヶ浜港建設反対運動)

*DVDについては館内上映・館外貸出・館内利用・授業利用いずれも可

●既刊

1期	復刻『草の根通信』1 1号～205号(1989年12月号) 2006年1月●揃定価(240,000+税) B5判・全9巻+解題 ISBN978-4-902871-45-6
2期	『巻原発反対運動・住民投票資料』 2006年12月●揃定価(240,000+税) B5判・全10巻+解題 ISBN978-4-903763-00-2
3期	『横浜新貨物線建設反対運動資料』 2008年1月●揃定価(240,000+税) B5判・全9巻+解題 ISBN978-4-903763-47-7
4期	復刻『草の根通信』2 206号～380号(2004年7月号) 2008年9月●揃定価(240,000+税) B5判・全10巻+解題 ISBN978-4-903763-73-6
5期	復刻『草の実』1 1号～200号 2009年11月●揃定価(240,000+税) A4判・全7巻+解題 ISBN978-4-86369-068-4
6期	復刻『草の実』2 201号～475号 2010年8月●揃定価(240,000+税) A4判・全10巻+解題 ISBN978-4-86369-097-4
7期	志賀(能登)原発反対運動・差止訴訟資料 2012年2月●揃定価(250,000+税) B5判・全11巻+解題+DVD付 ISBN978-4-86369-192-6
8期	三島・沼津・清水町石油コンビナート建設反対運動資料 2013年2月●揃定価(250,000円+税) B4判・B5判全8巻+解題+DVD付 ISBN978-4-86369-248-0
9期	奄美群島住民運動資料 2014年12月●揃定価(250,000円+税) B5判・B4判全9巻+解題+DVD付 ISBN978-4-86369-350-0

●刊行予定

10期	高知パルプ事件資料 2015年11月●揃定価(250,000円+税) B5判・全9巻+解題
11期	川辺川ダム建設反対運動資料 2016年11月●揃定価(250,000円+税) B5判・全9巻+解題

《販売対象》

- 文学部：現代史、女性史、フェミニズム
- 環境関連学部学科／社会学部：環境社会学、社会運動、都市社会学会、地域社会学、ジェンダー
- 経済学部：環境経済学、経済史、財政学
- 法学部：不法行為、環境法、行政法、憲法、不動産法、政治学、行政学、地方自治、公共政策
- 農学部 ●水産学部 ●工学部
- 都道府県立図書館 ●市区立図書館

株式会社 すいれん舎

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-14-3-601

TEL.03-5259-6060 FAX.03-5259-6070

E-mail masato@suirensa.jp

取扱店